# 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款:総務費 項:企画開発費 目:企画調査費

# 事業名 清流の国ぎふ芸術祭開催費補助金(ぎふ美術展)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局文化創造課文化創造係 電話番号:058-272-1111(内 2467)

E-mail: c11146@pref.gifu.lg.jp

## 1 事業費

40、172千円(前年度予算額:36,500千円)

#### <財源内訳>

	事業費	則		財	源		内訳					
区分		国 庫	分担金	使用料	財	産	寄附金	その他	ı= <i>I</i> :	債	_	般
		支出金	負担金	手数料	収	入			県		財	源
前年度	36, 500	0	0	0		0	0	0		0	36,	500
要求額	40, 172	0	0	0		0	0	0		0	40,	172
決定額												

#### 2 要求内容

### (1)要求の趣旨(現状と課題)

美術に親しむ県民の裾野の拡大、県民の想像力、鑑賞力の向上に寄与、創作活動に励む県民に広く発表の機会を提供するため、令和4年度8月に「第4回ぎふ美術展」を開催する。

#### (2) 事業内容

「ぎふ美術展」の運営及び広報のため、事業実施主体の(公財)岐阜県教育 文化財団に補助を行う。

# (3) 県負担・補助率の考え方

県文化振興指針の趣旨に基づき開催するもので、全額県負担とする。

## (4)類似事業の有無

無

# 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	40, 172	
合計	40, 172	

# 決定額の考え方

### 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ○「長期構想」における政策の目的 新たなふるさとの誇りを生み出すために、文化の薫り高いふるさとづくり に取り組みます。
- 〇岐阜県文化振興指針(平成19年6月策定)における位置づけ 広く県民から作品を公募し、一般に公開する「ぎふ美術展」を開催するこ とにより、日頃の活動成果を発表できる場を提供します。

### (2) 国、他県の状況

本県を除く41道県において一般的に「県展」と言われる美術公募展を実施しており、うち38県では主催または助成を行うなどの形で、県が大きく関わっている。

#### (3)後年度の財政負担

令和3年度開催の第3回ぎふ美術展と同様に、今後も県補助金 (10/10) により事業実施していく。

#### (4) 事業主体及びその妥当性

本補助金を受けて(公財)岐阜県教育文化財団が事業を実施する。

(公財)岐阜県教育文化財団は、人材の養成と県民文化・地域文化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動している財団であり、事業主体として妥当である。

# 県 単 独 補 助 金 事 業 評 価 調 書

□ 新規要求事業 ■ 継続要求事業

## (事業内容)

補助事業名	清流の国ぎふ芸術開催費補助金(ぎふ美術展)
補助事業者(団体)	(公財) 岐阜県教育文化財団
	(理由)当該財団は、人材の養成と県民文化・地域文
	化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文
	化等の保存・継承を目的として活動している財団であ
	り、事業主体として妥当である。
補助事業の概要	(目的)文化活動への参加及び創造を促進する。
	(内容)「ぎふ美術展」の開催
補助率・補助単価等	定額・定率・その他
	(内容) 県 1 0 / 1 0
	(理由)県の文化振興の主要プロジェクトとして実施
	するものであり、全額県負担とする。
補助効果	事業によって県文化の発展・継続が見込める
終期の設定	終期令和3年度
	(理由)社会情勢等を踏まえ、継続・廃止等の判断を
	行う。

# (事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

文化芸術活動へ参加する県民の更なる増加、また、新たな文化の創造及び地域の伝統文化の継承が、自律的な文化活動を確立させる。

## (目標の達成度を示す指標と実績)

七抽夕	事業開始前	R2 年度	R3 年度	R4 年度	終期目標	
指標名	(H27)	実績	目標	目標	(R )	達成率
① 観覧者数	6,269 人	_	12, 389	12, 389	12, 389	-%
			人	人	人	

	H30 年度	R 元年度	R2 年度		
補助金交付実績	29,826 千円	64,929 千円	4,792 千円		

#### (これまでの取組内容と成果)

令	・「第2回ぎふ美術展」では、県内外の幅広い方から計 813 件の応募が
和	あった。来館者数は 12,389 人となり、第1回を上回る結果となった。
元	
年	指標① 目標:9,505人 実績:12,389人 達成率:130%
令 和 3 年	令和5年度当初予算にて追加
度	<u>指標① 目標:</u> 実績: 達成率:%
令和4年	令和6年度当初予算にて追加
度	<u>指標① 目標:</u> 実績: 達成率:%

#### (事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

県民からのニーズが高く、他県状況等から勘案しても、県が関与 し、事業実施することが必要。 2

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3:期待以上の成果あり(単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2:期待どおりの成果あり(単年度目標 100%達成)

1:期待どおりの成果が得られていない(単年度目標 50~100%) 0:ほとんど成果が得られていない(単年度目標 50%未満)

「第2回ぎふ美術展」では、県内外の幅広い方から計 813 件の応 募があった。来館者数は12,389人となり、第1回を上回る結果と なった。

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

審査員の人数や審査会の進行等、旧県展からの見直しを諮り、事 (評価) 業の効率化に努めた。 2

#### (今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

来館者数増のため、効率的かつ効果的な広報の実施。

#### (次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今 後どのように取り組むのか

有識者で構成されている「清流の国ぎふ芸術祭運営委員会」及び「企画委員 会」において、第4回ぎふ美術展の具体的な実施計画について検討し、展覧 会開催に向けた準備を行う。